

2023年12月26日

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

報道関係者各位

【2023年 子どもワクチン支援活動実績報告】

開発途上国に対して、ポリオ、結核、はしかなど
総額1億1,662万5,340円分のワクチンや関連機器を支援
～ブータンでは今年風疹の排除に成功。来年で活動30年～

感染症で命を落とす子どもたちを救うため、開発途上国の子どもたちへのワクチン支援活動を行う、「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」（以下JCV）は、今年も12月初旬に、総額1億1,662万5,340円分のワクチンや関連機器をミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの4カ国に贈りました。

支援国の1つであるブータンでは、現地UNICEF事務所や医療従事者との協力により、支援する多くのワクチンで接種率90%以上を達成。今年は、国内における風疹の排除が達成されるなどワクチン接種の効果が確実に表れております。その他ミャンマー、ラオス、バヌアツを合わせた4カ国に対して、継続支援を実施いたしました。



ラオスでのワクチン接種の様子

【2023 年支援総額：総額 1 億 1,662 万 5,340 円の内訳】

支援国	金額	内容
ミャンマー	2,657 万 7,000 円	<p>●ワクチン ワクチン、注射器等の購入 ※不活化ポリオや BCG（結核）ワクチン約 1,000 人分を予定。現地でワクチンを調達するため、種類や接種可能な人数などの詳細は UNICEF 事務所により後日決定</p> <p>●コールドチェーンなど 少数民族の保健機関育成・接種実施費用、看護師やボランティアへワクチンやコミュニティへの働きかけのトレーニング費用、技術アシスタンス費用</p>
ラオス	3,617 万 4,398 円	<p>●ワクチン 経口ポリオワクチン 34 万人分 TD(破傷風/ジフテリア)ワクチン 45 万人分 B 型肝炎ワクチン 15 万 4,000 人分</p> <p>●コールドチェーンなど 注射器</p>
ブータン	2,803 万 5,192 円	<p>●ワクチン 経口ポリオワクチン 3 万人分 BCG(結核)ワクチン 1 万 6,000 人分 MMR(はしか/おたふく風邪/風疹)ワクチン 2 万人分 DPT(ジフテリア/百日咳/破傷風)ワクチン 8,000 人分 TD(破傷風/ジフテリア)ワクチン 3 万 5,000 人分 B 型肝炎ワクチン 8,000 人分</p> <p>●コールドチェーンなど 注射器、温度計、コールドチェーンメンテナンス訓練費用、プログラム管理費用、ワクチン・接種機器の運搬費用、未接種児の調査・接種キャンペーン費用</p>
バヌアツ	2,583 万 8,750 円	<p>●ワクチン 五価(ジフテリア/百日咳/破傷風/B 型肝炎/髄膜炎桿菌 b 型(Hib)による細菌性髄膜炎)ワクチン 3 万 8,000 人分 MMR(はしか/おたふく風邪/風疹)ワクチン 2 万 3,500 人分</p> <p>●コールドチェーンなど ソーラー保冷庫、コールドチェーン機器の設置及びメンテナンス費用、ワクチン・接種機器の運搬費用、ワクチン管理ツールの制作費用</p>

【支援国の子どもワクチン支援活動状況】

(1) ミャンマー

2021年2月のクーデター以降、市民生活の混乱が続き、5歳未満の子どもの5人に1人がワクチンを受けられていないと推測されています。今年も暫定政府からのワクチン供給が停止している少数民族地域の子どもたち約1,000人へ不活化ポリオやBCG（結核）等のワクチンを贈り、同時に地域のワクチン接種体制の構築を支援します。

(2) ラオス

昨年3月に視察で訪問した南部のアッタプー県の診療所や接種会場では、医療スタッフとともに働く多くのボランティアスタッフが、「自分が学んだ知識と技術で子どもたちを守るためにボランティアを続けている」と活動への想いを教えてくれました。アッタプー県のワクチン接種率98%は現地の懸命な努力に支えられています。

(3) ブータン

今年、日本に先駆けて「風疹排除」を達成したブータンのワクチン接種率は、97%前後を保っています。昨年6月の視察で出会った東部のモンガル県の病院スタッフは、車で2時間と歩いて8時間をかけて山の上の集落に暮らす子どもたちへも出張ワクチン接種を行っており、ワクチンで子どもたちの命を守る仕事に誇りを持って取り組んでいます。

(4) バヌアツ

83の島からなる南太平洋の小さな国では、ワクチンの運搬や保管が課題となっています。気候変動の影響で増加した、強力なサイクロンにより診療所も被害を受けていますが、医療スタッフは子どもたちが必要なワクチンを接種できるよう、時には泊まりがけで村を訪問するなど努力を重ねています。



ワクチン接種を終えたブータンの子どもと父親

【来年 30 周年を迎える子どもワクチン支援活動】

ポリオ、はしか、結核などの感染症は、途上国においては日常の脅威として、日々、多くの子どもたちの命と笑顔を奪い続けています。その数は1日4,000人。20秒に1人の子どもたちが、ワクチンさえ接種をすれば防げる病気で亡くなっています。

私たち、「世界の子どものワクチンを 日本委員会」(JCV) は、途上国の子どもたちにワクチンを届け、彼らの命と未来を守る活動「子どもワクチン支援」を行う民間の国際支援団体です。UNICEF や各国の保健省と協力し、1994 年から世界 10 カ国、1 億 2,759 万 8,996 人の子どもたちにワクチンを届ける活動を続け、来年で活動 30 周年を迎えます。



【団体概要】

- 団体名： 認定 NPO 法人 世界の子どものワクチンを 日本委員会
- 代表： 理事長 剣持 睦子 (ケンモチ ムツコ)
- 創設者： 会長 細川 佳代子 (ホソカワ カヨコ、細川護熙元首相相夫人)
- 本社所在地： 東京都港区三田 4-1-9 三田ヒルサイドビル 8F
- URL： www.jcv-jp.org
- 設立： 1994 年 1 月 29 日
- スペシャルサポーター：
竹下景子 (ワクチン大使・女優)、和田毅 (プロ野球選手)、早見優 (歌手・女優)、
三國清三 (オテル・ドゥ・ミクニ・オーナーシェフ)、進藤奈邦子 (WHO メディカルオフィサー)、鏡リュウジ (翻訳家・心理占星術研究家)、安藤優子 (ジャーナリスト)、
キャップ革命 ボトルマン (株式会社タカラトミー)

<お問い合わせ先>

認定 NPO 法人 世界の子どものワクチンを 日本委員会

広報・啓発・教育グループ 高橋、乙津

TEL : 080-3754-0286 / 080-5930-3012 FAX : 03-5419-1082

E-mail : takahashi@jcv-jp.org / otsu@jcv-jp.org